### 行政改革推進計画の進捗状況の評価基準の見直しについて

行政改革推進計画の進捗状況の評価基準につきましては、これまで3段階評価にて行ってまいりましたが、進捗状況をよりわかりやすく示すため、今回より5段階評価に見直しをいたしました。

#### これまでの3段階評価

項目の状況	評価	評価基準
実施・目標達成	0	計画どおり実施し、数値目標を100%達成したもの
一部実施・取組中	Δ	計画に沿って実施したが、数値目標を達成できなかったもの
未実施・未達成	×	未実施のもの、方針を転換したもの、 計画に沿って実施したが、実績を残せなかったもの 検討や協議は行ったが、実績を残せなかったもの



#### 見直し後の5段階評価

項目の状況	評価	評価基準
実施・目標達成	0	計画どおり実施し、数値目標を 100%達成したもの
概ね実施・目標達成	0	計画どおり実施し、数値目標の達成率が90%以上のもの
一部実施・取組中	Δ	計画に沿って実施したが、数値目標の達成率が90%未満のもの
方針転換	<b>A</b>	計画期間内に方針を転換したもの
未実施・未達成	×	未実施のもの 検討や協議は行ったが、実績を残せなかったもの

### 見直し内容

#### 【概ね実施・目標達成】

従来は数値目標を100%達成していないものは全て一部実施・取組中としていましたが、 計画どおりに実施して数値目標を90%以上達成したものは、一部実施ではなく、概ね目標 を達成していると判断できることから新たな評価項目としました。

#### 【一部実施・取組中】

概ね実施・目標達成を90%以上としたことから、90%未満を対象としました。 以前は未達成に分類していた「計画に沿って実施したが実績を残せなかったもの」を対 象としました。

# 【方針転換】

以前は未達成に分類していた「方針を転換したもの」は、新たな評価項目としました。

# 【未実施・未達成】

現計画を作成するうえで、検討や協議をするだけでは行政改革にならないと判断してきたことから、「検討や協議は行ったが、実績を残せなかったもの」は未達成のままとしました。